

しあわせって なんだろう

松倉芳次郎さん102歳からのメッセージ



生きていれば、いろいろあります。楽しいことも悲しいことも、面白いことも辛いこともいろいろありますよね。そんなとき誰もが考える「しあわせってなんだろう」ということ。今回の特集では102歳の松倉芳次郎さんへのインタビューをご紹介します。「しあわせ」について考えてみたいと思います。

芳次郎さんの生い立ち

今年で102歳になった松倉芳次郎さん。「最近膝がちよつと弱くなってきたけど」と言いながらも玄關で迎えてくださいました。

芳次郎さんの父親が北海道の開拓に行っていたこともあり、北海道で生まれ、4歳のときに旭川市から黒部の明日地区^{あけび}に移住しました。帰ってきた当時の明日地区は貧しくて、家も少なかったそうです。「北海道から持って来た外套(がいとつ)のマントを羽織っていたら、みんなに珍しそうに見られたのを覚えていますね」と話します。

大正10年、愛本尋常小学校に入学。その後は、12歳で高等小学校、14歳で当時はなかなか行くことのできなかつた舟見高等学校に入学しました。同居するお嫁さんの秋子さんは、「おじいちゃんはお小さい頃から賢くて、この辺りでは評判だったそうです。特に習字が得意で字がきれいでね。漢字なんかはスラスラと上手に書くんですよ」と話します。

結婚して わずか10日で戦争へ

当時は定職に就くということはあまりなかったため、芳次郎さんも15歳で村の仕事や愛本発



電所の建設などに関わっていました。そして昭和17年1月7日、芳次郎さんが27歳のとき、舞鶴の海軍に召集されました。「地元から海軍に行ったのは初めてでした。私が結婚したのは、その戦争に行くわずか10日前でした。今では考えられないかもしれませんが、当時はそんなことが多かったのです」。



軍隊手帳や召集令状のほか勲章・徽章など、軍隊生活に必要なものを入れておく袋

芳次郎さんの隊は、北海道の北対馬から輸送船で出発。しかし、空襲がひどく、キスカ島へ上陸したと言います。昭和18年7月7日、霧の中、なんとか船に乗り込み帰艦しました。「寒くて寒くて体中が凍りそうだったこと、食べる物が何ひとつなかったこと、当時のことを思い出すと壮絶な経験でした。本当に生死を潜り抜け今生きていることを実感しますね」。芳次郎さんは、この戦争で寒さのあまり凍傷を起こし、今でもその後遺症が手に残っています。



芳次郎さんの名前が書かれた国民労働手帳

人が溢れ 活気があった三日市



25歳の芳次郎さん

その後、昭和18年12月、28歳のときに黒部の家に戻ってきました。「裸ひとつやたね、着る着物だけ。戦争中で家の周りもみんな貧しかったですね。家は鶏小屋を改造して暮らしていました。昔テレビでやっていた、おしんの家のような感じでしたね」と話します。

「その頃、三日市までイワシを買いに行ったのを思い出しますね。朝早く家を出て、まちで売るジャガイモ5、6升を背負って5時間ぐらいでしょうが、歩いて山を下りました。当時の三日市のまちは人で溢れすごく活気がありましたね。生地から来たトラックに山盛りのイワシが積まれていてね、それを買って夕方に間に合うようにまた歩いて帰ったものです」と、子どもが生まれ食べさせるために必死だったと話します。

3人の子どものために とにかく働いた

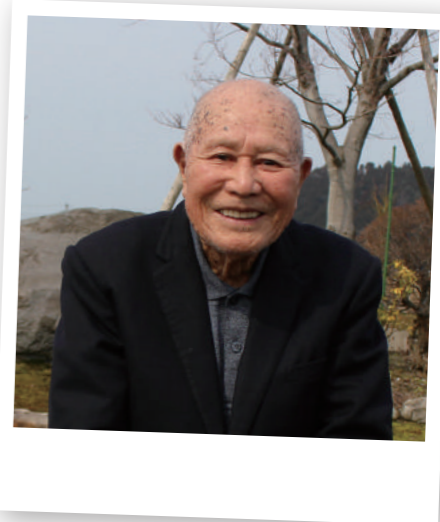
戦争から帰ったあと、3人の子どものため、とにかく働いたと言います。「田んぼはもちろんだ炭焼きや神岡鉱山にも働きに行きました。そして、日本で初めての国を挙げた公共事業「流水客土(※)」が明日地区で始まり、11年間その事業に携わりました。この流水客土事業で、良質のお米ができるようになり、村や人々の暮らしはどんどん豊かになっていき「ましたね」。

その後も、農業、役場と様々な仕事をし、定年後も銀行に再就職。70歳まで働きました。



流水客土は黒部の農業を変えた大きな事業でした

※流水客土(りゅうすいきやくど)：保水力が高い粘土質の赤土を山から水庄ポンプで削って用水に流し、水田に運び入れる画期的な工法。米づくりに不向きだった黒部川扇状地の土質が劇的に改良された。



今がしあわせ

「一番のしあわせは何かなあ」と話す芳次郎さんを見て、秋子さんは「健康であることが一番ですよ。孫たちにも恵まれ、100歳の時に素敵なパーティーも開いてくれましたね」と話します。

芳次郎さんは「子どもたちや孫たちがみんな立派に成長して自立してくれていることが1番うれしいかなあ。だから安心して、しあわせで出来るんやわ」と笑顔で答えます。

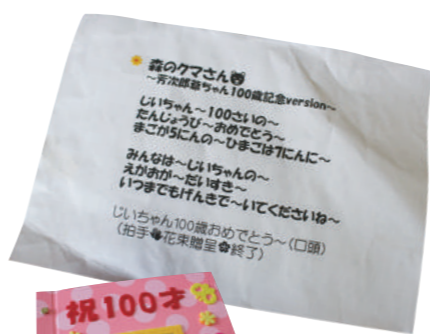
「そろそろお迎えが来るかと思ってるんですが、なかなか来なくてね。笑」「毎日おいしいご飯があって、こつやつて元気に過ごせる、今が本当にしあわせですね」と話します。

お元気そうな顔と冗談を話す口調はとても100歳を超えているとは思えないほど。最近までは、庭で草むしりをしたり、池の鯉や金魚を眺めながらエサやりをするのが日課だったそ

うで、今でも新聞は毎日読んでおられます。最後に、芳次郎さんから「歳を取ったら1年が短く感じるってよく言うでしょ。でもね、100歳を越えてから今度は1年がとても長く感じるんですよ、これは本当に不思議なんだ」と笑顔で話されたのがとても印象的でした。

しあわせってなんだろう

ご家族にお聞きしたところ、芳次郎さんも父親も地域で慕われるリーダー的な存在で、様々な活動の中心として働いておられたそうです。家族のしあわせや自分以外の人々のしあわせが芳次郎さんにとってのしあわせのように感じました。しあわせの価値観は人それぞれですが、芳次郎さんは今までの人生で様々な体験や経験を過ごされた中で、健康で当たり前の日常を過ごすことがしあわせだと教えてくれました。今ある毎日を大切にすることが芳次郎さんから学べることはないでしょうか。



100歳のお誕生日に家族から贈られた記念アルバム。替え歌も披露してくれたそうです。

活動レポート

支え合いプランの作成に取り組みました 前沢地区で福祉サミットを開催

2月17日(金)、前沢地区社会福祉協議会では「みんなで考える福祉サミットin前沢公民館」を開催しました。

はじめに、前沢地区社会福祉協議会の舟子忠明会長が「地区の福祉について皆さんと共に考えましょう」と挨拶し、黒部市社会福祉協議会の浜松課長補佐が今後の黒部市の見守り体制について説明しました。

地区社会福祉協議会の役員や民生委員児童委員、ケアネットチームなど約40名は町内ごとのグループに分かれ、支援の必要を感じる方の支え合いプラン作成に取り組みました。

総評した富山県社会福祉協議会の古野智也課長は「いい地域には自主性がある。自分たちがなくてははいけないと、たくさんの住民が気付くことが大事」と話しました。



町内に分かれて話し合いをしました



写真レポート



2月18日(土) 内山地区

一斉雪かきDAYを開催しました

地区住民やボランティア約60名で一人暮らし高齢者宅などの雪かきを行いました。同時に災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練も行いました。



2月2日(木) 大布施公民館

家でもできる体操を学びました

大布施地区社会福祉協議会が介護予防入門教室を開催しました。高齢者など約30名がチューブを使った体操に楽しく参加しました。

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談 ご予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月11日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
4月13日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/4月3日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月18日(火) 13:30~15:30
お一人様につき同じ相談内容の場合は、
3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター
生活自立支援相談 予約受付/4月3日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月10日(月) 10:00~11:30

4月

- 1日(土) カラオケうた仲間 10:30~
 - 4日(火) 藤間流華松会 日本舞踊 10:30~
 - 8日(土) さくら演歌ショー 10:30~
 - 18日(火) 松の会くるべ民舞 11:00~
 - 22日(土) YKK社友会歌謡同好会 10:30~
サークル発表会
 - 23日(日) 入善野菊の会 歌と踊りの発表会 10:30~
 - 29日(土) 日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典 10:30~
- 休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)

5月

- 13日(土) 歌謡パラダイスふれあいショー 10:30~
 - 27日(土) 日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典 10:30~
 - 28日(日) 北川歌謡ショー 10:30~
 - 30日(火) 黒部市老連カラオケ発表会 10:30~
- 休館日 毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)
ゴールデンウィーク 4日(木)~7日(日)

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30
[入浴時間] 10:00~16:00

今月の相談日

催し物と休館日のご案内



黒部善意銀行の寄付により
10人乗り自動車を整備しました
ありがとうございました

今後は、地域福祉活動や
黒部市福祉センター
利用者の送迎など、
幅広く活用する予定です。



今月のクラブに手芸部が
加わります!

趣味を通して仲間作りをしませんか?
部員は随時募集しています。お気軽にお問
い合わせください。
また、年に2回福祉センターにて作品展を開
きます。

[開催日] 毎月第3木曜日
[場 所] 黒部市福祉センター研修室
[参加費] 300円(入館料のみ)

\ 道具の寄付も募集しています /
ミシン(使える物)、裁縫セット、糸、
ミシン糸、はぎれ、てぬぐい等

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
金曜日(7日・21日・28日)

元気カラオケクラブ
木曜日(13日・27日)

誕生日のお祝いに
センターの入浴券はいかがですか? **11枚綴り
3,000円**

活動レポート

ボランティアが楽しみながら協力
東三日市・桜町地区でお楽しみ会を開催しました

3月3日(金)働く婦人の家で、東三日市・桜町地区ボランティア部会が「ひな祭りお楽しみ会」を開催しました。これは、ケアネット事業の一環として実施され住民同士の交流と介護予防を目的に行われています。地区の高齢者25名は、ピコ太郎に仮装した演芸や牧野和子さんによる体操を楽しみました。また、ひな祭りをお祝いするランチも皆さんでいただきました。
代表の浦田範子さんは「ボランティアができる時にできることを協力し合い、仲間づくりにもなっています」と話していました。

pick up!
ピコ太郎で盛り上がっていました



おしらせ

賛助会員の募集について

当協議会では、多種多様な住民ニーズに対応し、福祉事業の充実を図るため、賛助会費制度を設けています。こちらを利用して、皆さんの生活が良くなるよう必要な財源の確保に努めております。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

- 年会費
- 1口・・・1,000円(個人・企業・事業所等)
 - 1口・・・10,000円(法人・団体)
- ※賛助会費は随時受け付けをしております。

お申し込み・お問い合わせは
黒部市社会福祉協議会 総務課 TEL.0765-54-1082

赤い羽根共同募金
助成申請説明会



黒部のまちを良くする
活動の助成先を公募します

平成30年度実施事業 赤い羽根共同募金助成申請団体の公募を行います。事前にお申込みの上、説明会には必ずご出席ください。

平成29年4月13日(木) 15:30~16:30

[対象団体]
社会福祉法人、NPO法人、地域団体(自治会等)
福祉団体・ボランティア団体 等

[対象事業]
地域福祉が目的で、活動区域が黒部市の事業
(平成30年4月1日~平成31年3月31日の期間内)

[助成金]
1団体10万円以内

しあわせってなんだろう
松倉芳次郎さん102歳からのメッセージ



松倉芳次郎さん



2017
4月 Vol.133

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成29年4月1日発行

うなづき [参加費] 無料



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

[時間] 9:30~15:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3 自力整体	4 レクリエーション	5	6 レクリエーション	7 自力整体	8
9	10 健康体操A	11 健康体操C	12	13 健康体操C	14 レクリエーション	15
16	17 バスハイク	18 バスハイク	19	20 バスハイク	21 バスハイク	22
23	24 季節行事	25 季節行事	26	27 季節行事	28 季節行事	29 昭和の日
30	5/1 レクリエーション	2 健康体操B	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6

時間/10:00~

※■は休館日

健康体操A 石田みどり先生 健康体操C 岡崎明子先生
健康体操B 村田あゆみ先生 自力整体 稲田清美先生

くろべ [参加費] 300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて

[時間] 10:00~11:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6 健康体操	7 体操	8
9	10	11 体操	12 アロマ・ヨガ	13 アロマ・ヨガ	14	15
16	17	18	19 体操	20	21 健康体操	22
23	24	25 アロマ・ヨガ	26 健康体操	27 体操	28 アロマ・ヨガ	29 昭和の日
30	5/1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6

時間/10:00~

※■は休館日

健康体操 牧野 和子先生 体操 小森亜希子先生
アロマ・ヨガ 村田あゆみ先生

脳活 くらぶ

脳活くらぶ
学習サポーター募集中

認知症予防に役立つ簡単な学習の支援をして
みませんか?

対象: 65歳以上の方と会話を楽しめる方

学習サポーター研修会: 5月17日(水)13:00~16:00

締切: 5月12日(金)まで

お申し込みは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL. (0765) 65-1820 担当: 山内まで



今月の表紙

もうすぐ新入生を迎える高校のグラウンド。さわやかな緊張感がみなぎります。「福祉くるべ」もリニューアルし、新たな気持ちで日常のしあわせを切り取ります。

編集 中野

福祉・ボランティアに関することは



黒部市社会福祉協議会

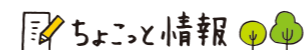
http://www.kurobesw.com/

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL. (0765) 54-1082 (代表) FAX. (0765) 52-2797
TEL. (0765) 57-1089 (ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL. (0765) 65-1165 FAX. (0765) 65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちょこっと情報

【黒部市の人口】 41,741人 [65歳以上の人口] 12,546人 高齢化率 30.1% H29.2.28 現在